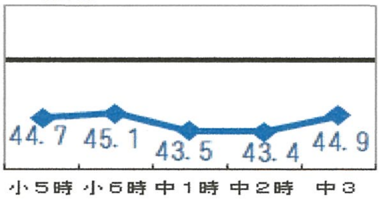
赤平市小・中学校 学力状況のおしらせ

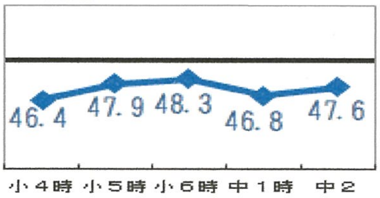
赤平市教育委員会
令和２年１１月

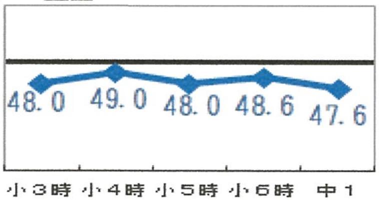
1 標準学力検査について

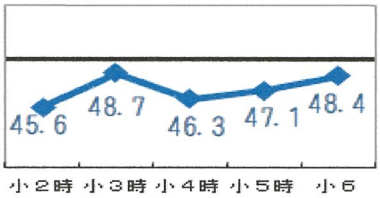
7月に実施した標準学力検査（NRT）の結果を教科別、学年別にお知らせします。次のグラフは全国平均（太線）を「50」とし、本市の状況について、数年間の推移とともに掲載したものです。

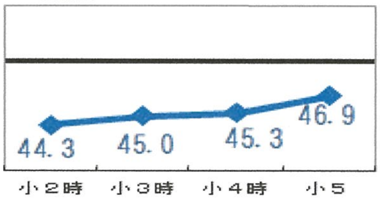
国 語

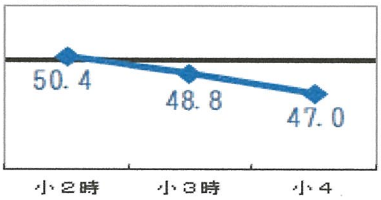
中3 国語


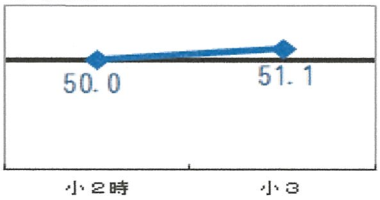
中2 国語


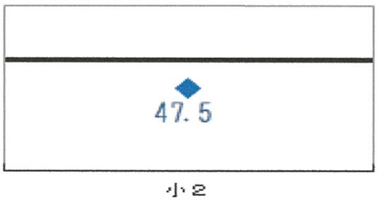
中1 国語


小6 国語


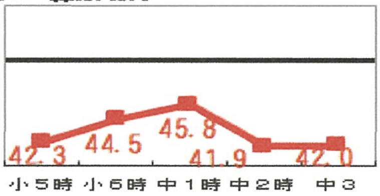
小5 国語


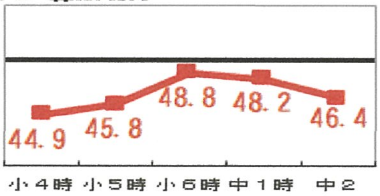
小4 国語


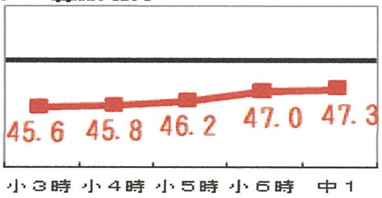
小3 国語


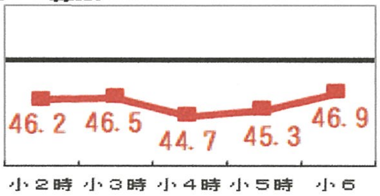
小2 国語


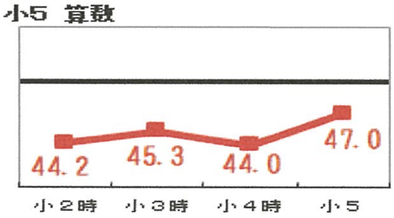
算 数 数 学

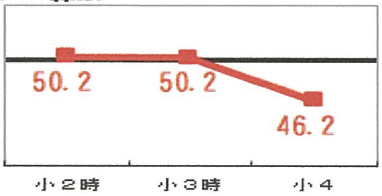
中3 算数･数学


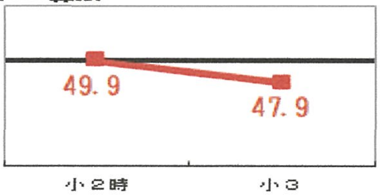
中2 算数･数学


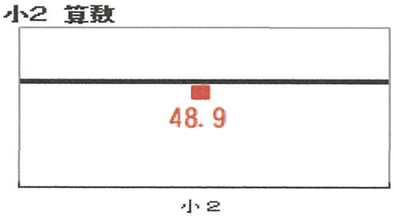
中1 算数･数学


小6 算数


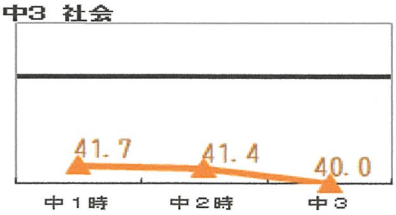
小5 算数


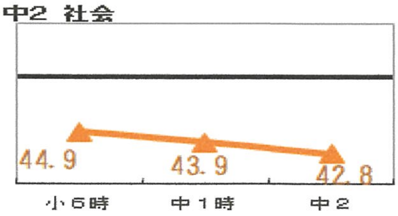
小4 算数


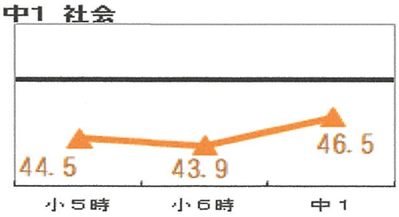
小3 算数


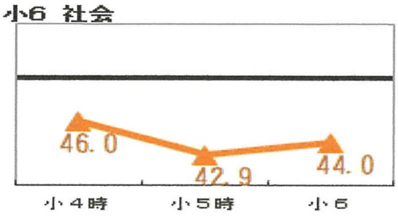
小2 算数


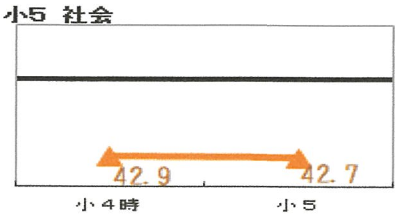
社 会

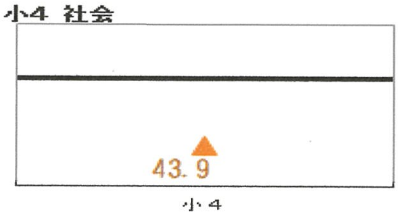
中3 社会


中2 社会


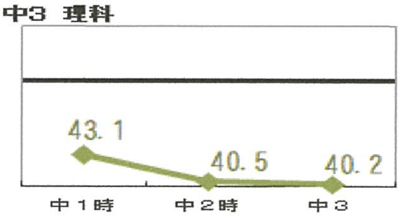
中1 社会


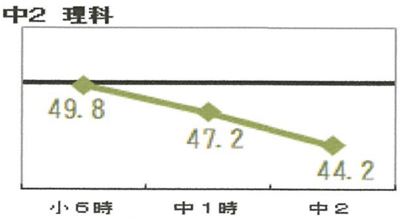


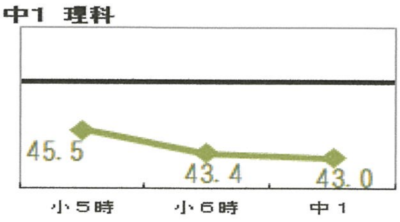


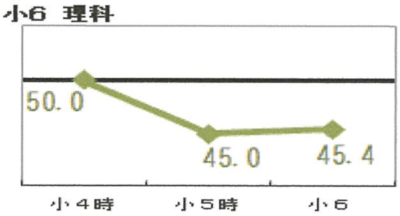


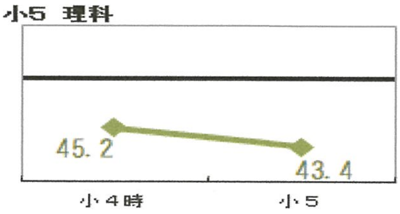
理 科

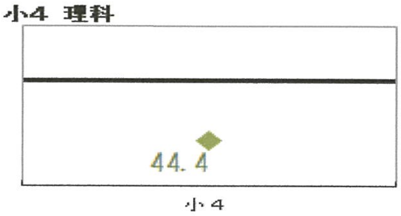




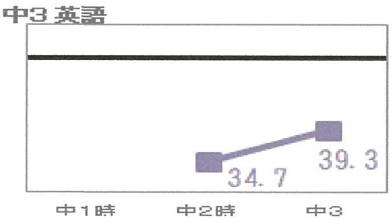


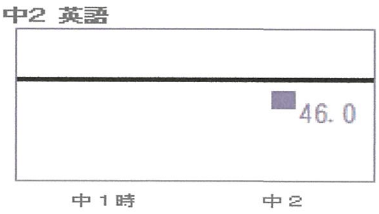






英 語





【主な傾向】

国 語　ことばを通して学習する教科です。学校では、教育活動全体で「ことばに対する能力」（言語能力）を高めることが求められています。国語は、言語能力を高める中心となる教科ですので、全国平均（太線）に限りなく近づく努力を継続する必要があります。

算数・数学　これまで学び取った学習を生かして、論理的、総合的に考えながら学ぶ教科です。算数・数学は、以前よりも授業の中で考える場面が増えてきました。勉強しないとなかなか伸びない教科の一つですので、授業の進め方の工夫や家庭学習の継続の両方を徹底する必要があります。

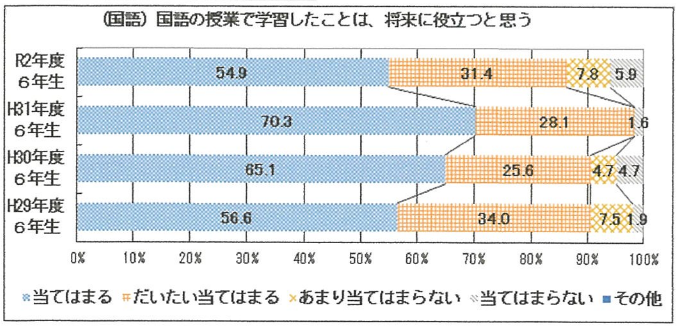
社会・理科　学力検査の結果が、国語や算数・数学よりも全国平均（太線）との差が大きくなっています。小学校でも中学校でも授業の進め方の工夫を柱に、学力の改善を図る必要があります。

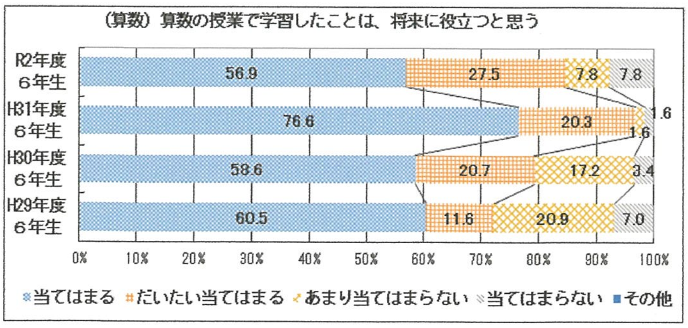
英語　読むこと、書くことだけではなく、聞くこと、話すことにも焦点を当てたバランスの良い、実用的な英語の学習が進められています。学び取ったことを実際に使うことが大切な教科でもあります。家庭学習で学力の改善を図り、英語を使ってみたいという気持ちを高める必要があります。

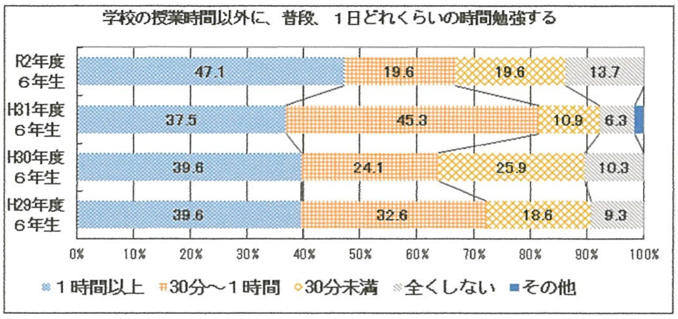
2 全国学力・学習状況調査の質問紙について

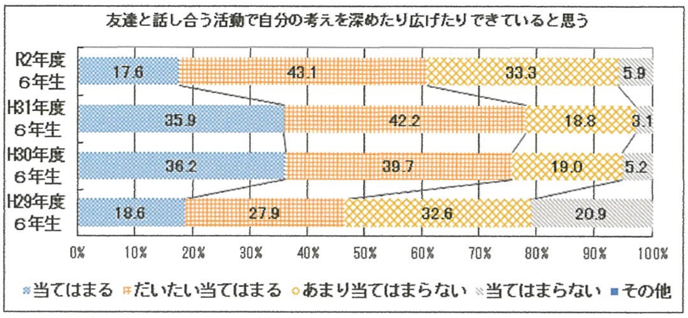
4月に実施していました全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により、質問紙のみの集約となりました。昨年に引き続き、将来の社会生活と関係が深い質問項目の集約結果を掲載しました。

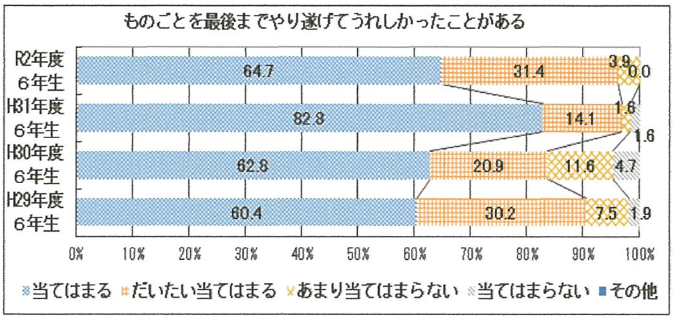
小学校６年生

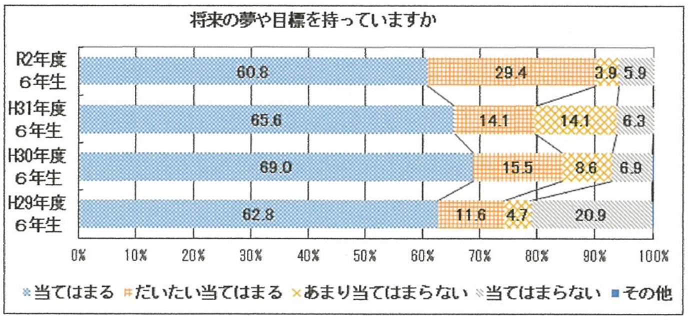




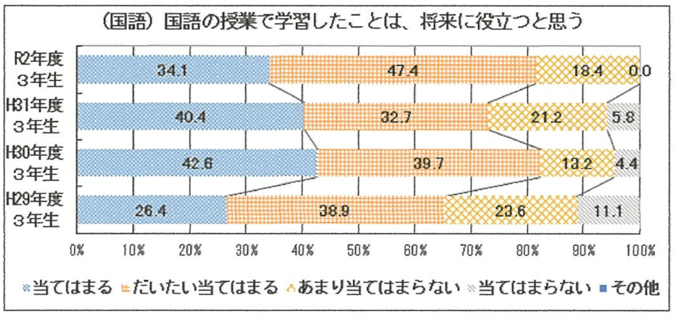

学校の授業時間以外に、普段、１日どれくらいの時間勉強する
R2年度 6年生 47.1 19.6 19.6 13.7
H31年度 6年生 37.5 45.3 10.9 6.3
H30年度 6年生 39.6 24.1 25.9 10.3
H29年度 6年生 39.6 32.6 18.6 9.3
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
１時間以上 30分～１時間 30分未満 全くしない その他

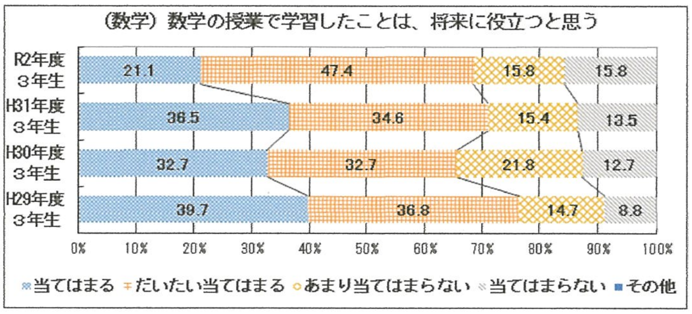

友達と話し合う活動で自分の考えを深めたり広げたりできていると思う
R2年度 6年生 17.6 43.1 33.3 5.9
H31年度 6年生 35.9 42.2 18.8 3.1
H30年度 6年生 36.2 39.7 19.0 5.2
H29年度 6年生 18.6 27.9 32.6 20.9
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない その他

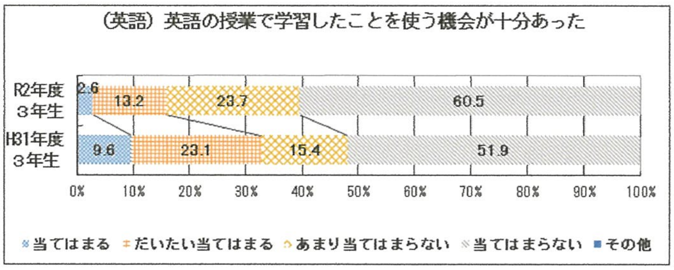

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある
R2年度 6年生 64.7 31.4 3.9 0.0
H31年度 6年生 82.8 14.1 1.6 1.6
H30年度 6年生 62.8 20.9 11.6 4.7
H29年度 6年生 60.4 30.2 7.5 1.9
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない その他

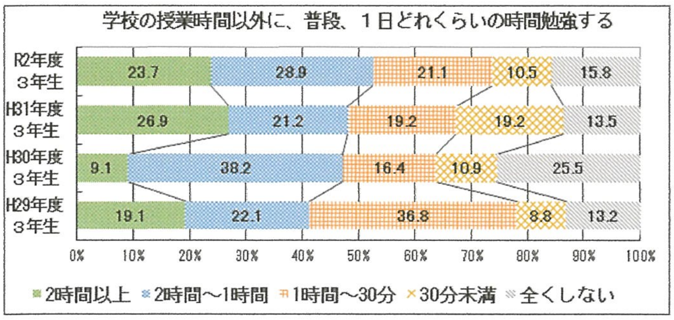

将来の夢や目標を持っていますか
R2年度 6年生 60.8 29.4 3.9 5.9
H31年度 6年生 65.6 14.1 14.1 6.3
H30年度 6年生 69.0 15.5 8.6 6.9
H29年度 6年生 62.8 11.6 4.7 20.9
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない その他

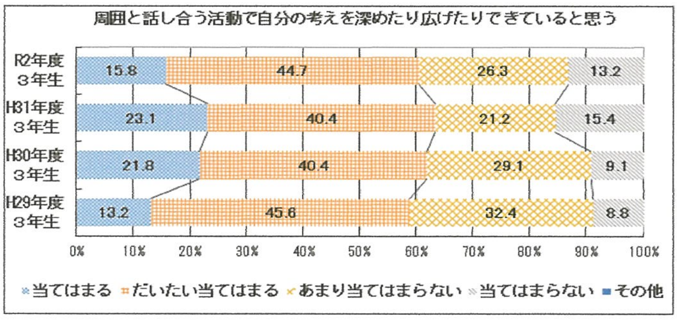
中学校３年生

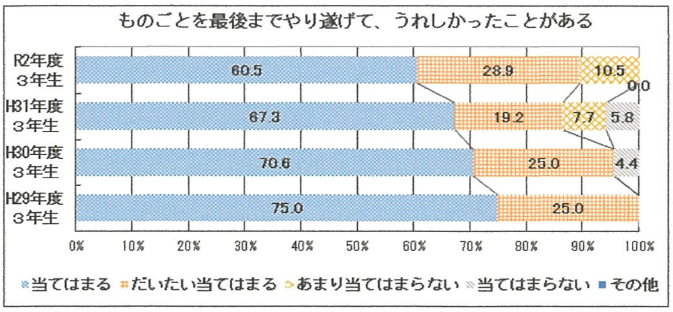

（国語）国語の授業で学習したことは、将来に役立つと思う
R2年度 3年生 34.1 47.4 18.4 0.0
H31年度 3年生 40.4 32.7 21.2 5.8
H30年度 3年生 42.6 39.7 13.2 4.4
H29年度 3年生 26.4 38.9 23.6 11.1
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない その他

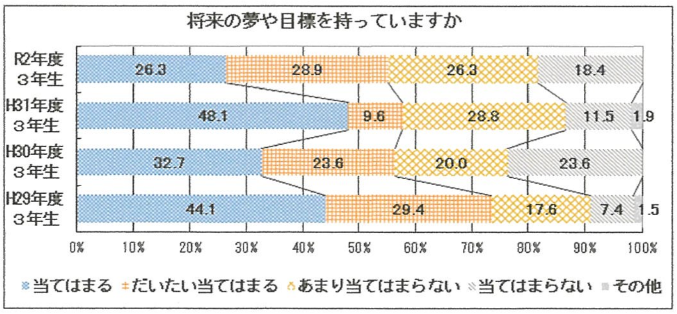

（数学）数学の授業で学習したことは、将来に役立つと思う
R2年度 3年生 21.1 47.4 15.8 15.8
H31年度 3年生 36.5 34.6 15.4 13.5
H30年度 3年生 32.7 32.7 21.8 12.7
H29年度 3年生 39.7 36.8 14.7 8.8
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない その他


（英語）英語の授業で学習したことを使う機会が十分あった
R2年度 3年生 2.6 13.2 23.7 60.5
H31年度 3年生 9.6 23.1 15.4 51.9
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない その他


学校の授業時間以外に、普段、１日どれくらいの時間勉強する
R2年度 3年生 23.7 28.9 21.1 10.5 15.8
H31年度 3年生 26.9 21.2 19.2 19.2 13.5
H30年度 3年生 9.1 38.2 16.4 10.9 25.5
H29年度 3年生 19.1 22.1 36.8 8.8 13.2
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
2時間以上 2時間～1時間 1時間～30分 30分未満 全くしない


周囲と話し合う活動で自分の考えを深めたり広げたりできていると思う
R2年度 3年生 15.8 44.7 26.3 13.2
H31年度 3年生 23.1 40.4 21.2 15.4
H30年度 3年生 21.8 40.4 29.1 9.1
H29年度 3年生 13.2 45.6 32.4 8.8
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない その他


ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
R2年度 3年生 60.5 28.9 10.5 0.0
H31年度 3年生 67.3 19.2 7.7 5.8
H30年度 3年生 70.6 25.0 4.4
H29年度 3年生 75.0 25.0
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない その他


将来の夢や目標を持っていますか
R2年度 3年生 26.3 28.9 26.3 18.4
H31年度 3年生 48.1 9.6 28.8 11.5 1.9
H30年度 3年生 32.7 23.6 20.0 23.6
H29年度 3年生 44.1 29.4 17.6 7.4 1.5
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない その他

○新しい学習指導要領では「学び取ったことをどう使うか」、「社会生活の中でどう生かしていくか」などの力を育む授業を目指しています。これまでの「将来に役立つと思う」の回答は、全国的な傾向より10ポイント～20ポイント程度低い状況ですので、「将来に役立つ」と感じる授業を増やす必要があります。
○「学び取ったことをどう使うか」、「社会生活の中でどう生かしていくか」などの力を育むためには、家庭学習を毎日しっかり行い、学んだことを確かなものにする必要があります。家庭学習については、小学校6年生も中学校3年生も「30分未満」、「全くしない」という割合を減らす指導の工夫が必要です。
○自分の人生を切り拓いていくためには、「考えを交流して周囲から学ぶ」、「達成感や成功体験」等が必要ですが、これまでの回答結果からは課題が伝わってきます。それぞれの学年の状況に応じて、「身近な目標達成」への挑戦を積み重ねながら、「将来の夢や目標」と向き合う態度を育む必要があります。

3 学力の改善に向けた実践策の主なもの

今年度に実施された検査結果や日常の学習状況を踏まえて、各学校では学力改善を少しでも前に進めるため、具体的な取組を進めています。結果はすぐに表れるものではありませんので、学校ごとの実践策は現在も進行中です。各学校の実践中のものから、その主なものを掲載します。

【授業の工夫・繰り返し学習の工夫】

○ 標準学力検査や全国学力・学習状況調査問題活用の結果分析を全教職員で行い、将来に役立つ力が高まるよう、改善の方向性を確認して指導の工夫を進めている。
○ 標準学力検査の採点をコンピュータ分析が届く前に自校で行い、課題を明確にしながら、個人や学年の状況に合わせた授業改善を進めている。
○ 標準学力検査結果の経年推移に着目し、授業の進め方の工夫に役立てている。
○ 毎時間の授業の序盤において、「何を学ぶのか」を明確にした学習目標を提示して、学習の見通しと意欲の高揚につながる授業づくりに努めている。
○ 毎時間の授業の終盤において、「何が身についたか」を確かめるため、授業を振り返る場面を大切にする授業づくりを進めている。
○ 児童生徒が自分の考えを発表する場面を大切にした授業を進めている。
○ 授業の流れや授業中の約束事を統一することで、授業の質を高める取組を進めている。
○ 朝の活動や放課後を活用して、不十分な内容や基礎的な内容の復習に取り組み、授業の充実に繋がるよう努めている。

【家庭学習の改善・充実】

○ 推奨する実際の家庭学習ノート等を掲示し、学校全体で家庭学習の質を向上させる環境の工夫を継続している。2学期からは、家庭学習時間についても記入を始めた。
○ 毎日の家庭学習を記録する「家庭学習がんばりカード」に保護者コメント欄を設け、家庭との連携を強化している。家庭学習の時間についても、「学年×10分」を維持できるよう指導を継続している。
○ 授業と家庭学習による復習を関連付けながら取り組んでいる。
○ 家庭での生活についても、望ましい生活リズムとなるよう「チェックシート」を活用し、実態に即した指導を工夫するとともに、保護者懇談会においても相互理解を深める手立てとしている。
○ 各学年の家庭学習の実態を把握し、改善に向けた保護者の協力を繰り返しお願いしている。

4 教育委員会としての学力向上に係る支援策の主なもの

○ 児童生徒の学力の状況を判断する検査として、標準学力検査（NRT）を市費で実施し、各学校の学力改善に向けた教育実践が、「どの程度成果に結びついているか」について、情報を提供している。（NRT 8年目）
○ 標準学力検査の教科は、小2～小3「国語・算数」、小4～小6「国語・算数・社会・理科」、中1「国語・数学・社会・理科」、中2～中3「国語・数学・社会・理科・英語」を実施している。（教科数充実 3年目）
○ 北海道教育委員会と連携して義務教育指導班の指導主事を派遣してもらい、よりよい授業に一歩一歩近づくことができるよう、具体的なアドバイスを通して各学校の研修を支援している。
○ 小5を対象に「漢字検定または算数検定」の助成、中2を対象に「英語検定」の助成を実施し、学習意欲の高揚を図っている。（3年目）
○ 小学生を対象として、各地区の児童館において「子ども塾」を、中学生を対象として、交流センターみらいにおいて「公設学習塾」をそれぞれ週1回開設し、学習機会を増やす環境を支援している。（3年目）